

平成27年度地域で決める学校予算事業第1回推進懇話会 意見概要

開催日時	平成27年10月9日(金)午後3時30分から5時まで
開催場所	はぐくみセンター 8階小講座室
意見等を求める内容等	1 文部科学大臣表彰の推薦について 2 平成26年度の事業について 3 平成27年度の事業について 4 平成28年度の事業計画について 5 その他
参加者	出席者8人[加藤委員長、瀬渡代表、岡田代表、中川代表、中室教育長、梅田学校教育部長、福西学校教育課長補佐(課長代理)、小林教育政策課長補佐(課長代理)] 地域教育課事務局8人
開催形態	公開 (傍聴人 なし)
担当課	学校教育課地域教育課 地域学校連携係

意見等の内容の取り纏め

教育長のあいさつ、出席者自己紹介、座長決定(加藤代表)、事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。

《概要説明》

- 1 文部科学大臣表彰推薦校の報告：今年度の推薦は富雄第三小中学校に決定
- 2 平成26年度・27年度の事業についての報告
  - ・いくつかの学校園の取組紹介。
  - ・平成23年度から実施している地域教育推進事業に関するアンケート(対象：地域教育協議会会長、総合コーディネーター、学校園の管理職、地域連携担当教員)の平成26年度の結果を報告。このアンケート結果から以下の課題が考えられる。
    - 「地域教育協議会の体制強化をする必要性」
    - 「一般教員と地域人材の連携や共通理解をさらに深める必要性」
  - ・平成27年度全国学力学習調査の結果について(学校教育課提供)、資料を提示。
  - ・上記のアンケートにおいて学力に関する項目は、平成25年度から追加をしているため、本事業と児童生徒の学習意欲・学力向上との相関性を検討するのに十分ではない。
- 3 平成28年度の取組について
  - ・平成26・27年度のアンケート結果を受けて、以下の対応を検討中。
    - 「目指す子ども像の共有化・評価機能の充実・活動効果の分析検証」
    - 「児童生徒の学力と地域教育推進事業との相関関係についても視野に入れること」

・平成 28 年度予算書・計画書の様式の変更について報告。

《意見を求めたことについて》

- ① 平成 26 年度・27 年度の事業について(アンケート結果より)
- ② プレゼンテーションの評価結果について
- ③ 平成 28 年度の事業計画について

《意見》

- ① 平成 26 年度・27 年度事業について(アンケート調査結果より)
  - ・平成 23 年度からのアンケート結果の集約で、「子どもたちの体験・経験の場が増えた」という回答が本事業の効果として 1 位になっている結果を受けて、「アンケート項目別に、経年のデータ整理をし、エビデンス(科学的根拠)を示して欲しい」との要望があった。
  - ・アンケート結果や平成 27 年度全国学力学習調査結果から、「本事業の活発な校区及び学習支援を実施している校区と学力との相関関係」について話し合われた。
  - ・地域で決める学校予算事業と全国学力調査との相関を視野に入れるのは大切である。しかし地域学校連携の向上＝学力向上ではない。
  - ・年度末に実施するプレゼンテーションにおける推進懇話会メンバーの主な視点は、子どもたちの学力向上ではない。学力向上は学校教員が専念し、本事業はその下支えをするものなのでは。
- ② プレゼンテーションの評価結果について
  - ・各中学校区地域教育協議会の評価は年々レベルアップしているが、事業評価の伸び悩んでいる中学校区のボトムアップをどうするかが話し合われた。
  - ・該当中学校区は、地域人材の活動や支援を学校が把握しきれておらず、また地域も学校に活動内容を発信していないのではないかと。
  - ・該当中学校区には「協議会での取組を中学校区各運営委員会で連携していくこと」を助言し、「平成 26 年度プレゼンテーション評価委員から出された 10 の意見(プリント資料)」を再度提供してみてはどうか。
  - ・プレゼンテーションでは、地域人材の力で子どもたちにどのような良い波及効果があったのかを多面的に捉えた評価を行ってきた。そうした中で、学力の向上ばかりがクローズアップされることに疑問を感じる。
- ③ 平成 28 年度の事業計画について
  - ・平成 28 年度は「学校園と地域のさらなる連携」「地域教育協議会組織のさらなる強化」を目標にしているということなので、計画書・予算書の様式の変更点については、計画書の最上段に「中学校区の目指す子ども像」を、2 段目に「昨年度の課題」を記入項目に配しているのは良い。
  - ・「目指す子ども像」を中学校区で共有する様式変更は小中一貫教育も視野に入れた子ども像となる。狙いが明確な様式変更である。

■その他(各代表からの一言コメント)

各代表からの一言コメントでも「学力向上と本事業の相関関係についての意見」が多かった。

- ・学力と本事業に相関関係があるのかと驚いた。学力向上を目的とせず継続してきたのが良かったのではないか。
- ・今回は相関関係が顕著な3中学校区だけだったが、21中学校区を比較すると、結果が異なるのではないか。
- ・事業評価の伸び悩んでいる中学校区の原因は、調査する必要がある。
- ・学力向上と地域学校連携事業のデータ分析に興味はあるが、慎重に取り扱わなければならない。
- ・学力が伸び悩んでいる地域でも、地域教育力や地域学校連携が進んでいるという事例があるかもしれない。地域性も加味し、その関連性は慎重に検討すべきである。